

議 事 録

1. 会議の名称 池田市史編纂委員会
2. 開催日時 平成24年10月5日(金)
午前10時20分～午前11時15分
3. 開催場所 池田市役所 6階 第3会議室
4. 出席者 《委員》
※委員長：◎ 森栗 茂一 (◎)
副委員長：○ 小田 康徳 (○)
富田 好久
芝村 篤樹
〈事務局職員〉
村田陽教育長
松森教育部次長
田上生涯学習推進課長
田中主幹、細谷主査、
関根非常勤嘱託、本井非常勤嘱託
4. 議 題 (1)平成24年度事業報告について
(2)「史料編」(近代)・(現代)について
(3)平成25年度事業計画・予算要求について
(4)その他
5. 議事経過 別紙のとおり
6. 開・非公開の別 公開
※非公開の理由 理由：
7. 傍聴者数 0名

開 会

教育委員会挨拶 当会議前の、市長への『新修 池田市史』完成報告で、市長も市政の方向性を考えることができると話していた。歴史を学ぶことで目指す方向性がみえてくると思うが、そのモデルが市史に反映されている。せっかく作ったのだから、これから我々が活かしていかなければならないと考えている。編纂委員会には今後ともご指導いただきたい。

(1) 平成24年度事業経過報告について

事務局 会議は、編纂委員会を8月9日に開催、市長への『新修 池田市史』完成報告についても議論し、先ほど実施いただいた。専門部会は近代・現代とも2回ずつ開催した。

資料収集・調査は、鉢塚の古文書の調査整理を継続、複数年次でのマイクロ撮影を予定している。また7月に、元市立中学校教員から聞き取り調査を実施した。編集・刊行は、「史料編」(近代)(現代)とも作業を進めている。

広報活動は、広報誌の「わがまち歴史散歩」で、「年表・索引編」のPRを掲載した。また、全国大学図書館に、刊行案内を再度送付、いくつかの大学から問い合わせがあった。なお、「わがまち歴史散歩」11・12月号は、大阪大学総合学術博物館の企画展とコラボしたテーマで執筆予定。

委員長 編纂委員会として、大阪大学に、史料を活用し池田の歴史に沿った研究に取り組んではどうかという旨を申し入れたい。

(2) 「史料編」(近代)・(現代)について

副委員長 「史料編」(近代)は、池田の特徴が示され、かつ近代史研究に寄与しうる史料を念頭に置いて、掲載候補史料を検討し、本文見込みを500頁とする一方、組版は読みやすさの点から行数・字数を1ずつ減らし、B5版・29字×22行×2段とした。事務局で進めている翻刻作業は、一部解読が難しいものを除けば大体順調に進んでいる。

解説は、収録した史料を読めば分かるようなことや、史料の要約などは省く。史料選択の理由や、どのように調査をしたのか、その史料や関連史料からいかなる近代史の展望が描けるかといった点に重点を置く。総論は自身が、個別史料については専門委員が分担して執筆する。

事務局 翻刻は現状で9割8分終了し順調だが、500頁を超過する見込み。

委員 「史料編」(現代)も、史料の取捨選択を行っているが、史料の量が多いため、絞り込んでどのように構成するかがポイント。「利用できる史料編」「読める史料編」を作りたい。構成は「本文編」に準じ、①1945年～55年、②55年～75年(高度経済成長期)、③75年～前世紀末までに分け、重要な史料は21世紀のものも適宜収録したい。史料配置は、①行政文書や家文書などの史料種別、②主題別の二通りを混合し、最終的には、史料の選別がある程度進んだ段

階で決定したい。また、聞き書きも収録する予定である。

委員長 採用されなかった史料が市史編纂室に残るのであれば、調査したい人がいれば市史編纂室でみることができるよう想定して作業を進めていく必要があるのではないか。コンセンサスとしてどこまで行うかは別として、史料の保存及び公開について一定程度検討しておかねばならない。

委員 プライバシーに関するものが多いという意味では、難しい課題だ。ただし、史料としては保存していく必要があるだろう。

(3) 平成25年度事業計画・予算要求について

事務局 調査計画や広報計画は従来通り継続したい。編集・刊行計画としては、「史料編」(近代)の編集・刊行と、「史料編」(現代)の編集を行う。

平成25年度予算は、報償金の専門委員・調査旅費・調査補助員・調査協力者については平成24年度ベースで考えている。これに「史料編」(近代)の刊行に係る費用として監修料・印刷費・原稿料、および、「史料編」(現代)の原稿作成の業者委託を版下一部作成費として計上する予定。

副委員長 版下作成にあたって解読が困難な場合が生じるのではないかと。事務局で対応できないものだけを業者に依頼してはどうか。

事務局 業者への版下作成依頼は活字史料を想定しているが、現時点で掲載史料が確定していないので、方針を決めることができない。

委員長 今の段階では大まかな方針しか出せないだろう。予算だけ確保しておいて、後で費目を組み替えるなどすれば良い。

(4) その他

事務局 広報担当課から記事提供した別巻発刊について、『大阪日日新聞』が記事に取り上げてくれた。

委員長 「わがまち歴史散歩」については、今後に向けて執筆者の裾野を拡げて執筆者を確保しておく必要がある。大阪大学関係者にも是非勧めておいて欲しい。先刻の『新修 池田市史』完成報告も広報の記事にできないか。

事務局 ホームページへの掲載を考えている。

副委員長 広報にも掲載してはどうか。市史の刊行は市長の業績となる。

委員長 次回は、予算が確定した状況で、年度内に開催する方向で調整して欲しい。その際に、来年度の方針を確認できればと思う。

閉 会